

第13回全国棚田(千枚田)サミット

テーマ・美しい土の里から～棚田から明日への提言～

■と き／平成19年8月24日(金)～25日(土)
■と ころ／栃木県茂木町



四谷の
千枚田だより



第48号



蝉時雨る真只中の千枚田
千枚田人も拒んで電気柵
千枚田駆降りて来る大夕立
鉦太鼓鳴りてはねこみ魂迎
豊明市 河合 満

—開催日程—

8月24日 第1日目

- 13:00～ 開会式
- 13:40～ 基調講演(福田富一栃木県知事)
- 15:20～ 県内の事例発表
(1) 宇都宮白楊高校による棚田保全活動の取組
(2) 茂木町むらづくりオーナー制度
(3) 那須烏山国見地区の棚田保全活動発表

18:00～ 全体交流会

8月25日 第2日目

- 8:00～ 現地見学会
「石畑の棚田」(茂木町)、「国見の棚田」(那須烏山市)
ゆずの里、有機物リサイクルセンター美土里館
- 11:00～ 閉会式(道の駅もてぎイベント広場)



全国棚田(千枚田)連絡協議会



みんなで行くでん

茂木町は、栃木県の南東部に位置する八溝山系に囲まれた自然豊かな町です。全国棚田百選に選ばれた「石畑の棚田(写真)などの美しい農村風景が広がり、各種オーナー制度など都市農村交流が盛んに行われています。

茂木町を会場として、第十三回国棚田(千枚田)サミットが開催されます。一日目の栃木県内の事例発表では、宇都宮白楊高校生徒の棚田保全活動、茂木町のむらづくりとオーナー制を通じた都市農村交流の取組み、那須烏山市国見地区の棚田保全活動を発表いただき、地域住民と都市住民、更には学校やNPOなど様々な組織が連携して活動している事例をご紹介します。夜の交流会は、地場食材を使った料理とおいしいお酒で、みなさまを暖かくおもてなしいたします。

二日目の現地見学では、全国棚田百選に選ばれた「茂木町・石畑の棚田」と「那須烏山市・国見の棚田」の二ヶ所を見学する欲張りなプランをご用意しました。更に選択制で、茂木町のオーナー制の元祖「ゆずの里」と地域の有機資源から優良なたい肥を生産する「有機物リサイクルセンター美土里」を見学していただきます。

夏の暑い二日間、茂木町ならではの「盛り沢山」の内容で歓迎いたしますので、皆さま是非ご参加ください。

(茂木町役場農林課 伊藤 崇)

四谷の千枚田 8月14日の様子



千枚田のいきものたち

八月五日(日)、「四谷の千枚田のいきものたち」の観察会が鳳来寺山自然科学博物館主催(講師 小山舜二学術委員)で開かれました。

当日は安城市や西尾市からの親子連れや一般の方二十四名が参加、タニシやドジョウ、カエルなどが棚田のおいしいお米をつくるために頑張っている様子や、小沢にはどのような魚がいるか、実際に魚を捕らえたりした有意義な観察会が行われました。この、観察会の様子は「テレビ愛知」で十五日に放送されました。

有害鳥獣対策

よく、知っているものだ、今年も稲が太腹を迎えた途端にイノシシが田んぼに入った。棚田の小さな田んぼでごろんと「ぬた」でもうたれたらそれこそ実も蓋もない。

イノシシやサルの被害対策として棚田の百姓は田んぼの周りに電気柵を張り巡らせたり、捕獲檻を設置したりして、大変な労力と出費であるが、もう、銭金ではない。苦勞して育てた稲が二足三文になってしまふ。

有害鳥獣防除事業補助金
事業費の五十%、上限五万円

補助対象：電気柵・捕獲檻・サル防除ネット

掲示板

■全国の棚田支援活動などが認められ、社会貢献度第一位になったアストラゼネカ社の井田リーダーが昨年引き続き、この十月十日(水)に行われる四谷の千枚田におけるボランティア活動の下見、打ち合わせのため八月三十日(木)に現地を訪れます。

■連谷小学校から：九月五日(水)午後、四谷の千枚田に十体の「案山子」が登場(予定)します。

■九月八日(土)、三河の山里ツアーズム(シリーズ)の稲刈り体験が(舞)の田んぼで行われます。

■九月八〜九日、恵那プロジェクト・かえるのビオトープ作りと棚田見学が岐阜県恵那市の坂折棚田で開かれ、その、帰り道、四谷の千枚田を(九日の正午頃)訪れます。当日は、愛知万博「昔の脱穀」で大変お世話になり、サミットでお馴染みの相田さんも同行されるので都合のつく方は、ちよこつと顔だしして下さい。

けなげな唄

子安観音(こやつさま)
あのやあく「やまかつサ」んとこの

道端にやあく子安様(こやつさま)が奉つたたるが、何んでだか知つとるかん・・さあ、何んでずらかのん・・ありやあのん、「おくにお婆」ちゆつて、やまかつサの大婆あ(曾祖母)がのん「とりあげサ(助産婦)」でのん、こちら辺の赤ん坊は皆んなとりあげてむらつただだむんだげな。そいでやあく皆んなの有り難うさまちちゆう気持ちを集めてやあく子安様を奉つただだむんだげな。ふん、そうだつただだかん・・今の衆(お節サ)も「とりあげサ」をやつてくれりやあいいがのん、・・そりやあ、あかんわいのん、今じゃあ誰んでも産みやあせんじやんかん・・



『子安観音：明治三十六年六月二日建立』

行 平成十九年八月十五日
鞍掛山麓千枚田保存会
発 文 責 小山舜二